

～無事に収穫を迎えられたことに感謝を込めて～



10月31日(木)、能代西高校恒例の「収穫感謝祭」が開催されました。この行事は、今年1年、事故などなく無事に収穫を迎えられたことに感謝する農業高校の特徴的なイベントの1つです。

生徒達は、全校田植えをした圃場のお米を使って、自分の昼食用のおにぎり2個を午前中の授業で割り当てられた時間を使い自ら握りました。

大小様々な形をした個性的な「おにぎり」は、昼食までケースに入れて各自で大事に保管しました。

調理の支援をしてくれたのは、生活福祉系列の3年生。

炊飯の傍ら、農場で生産した白神ねぎと「食品製造」の授業で生物資源系列3年生が作った自家製味噌を使って味噌汁を作りました。

調理実習や資格試験で鍛えた腕前を存分に発揮して、手際よく調理しました。



午前中の授業が終わると、生徒達は自分が作ったおにぎりとお弁当を手に体育館に集合(´^`)

体育館には、農場で収穫された野菜や鉢花、ハチミツやニワトリなどの農産品や加工品が所狭しと並べられた立派な祭壇が設置されており、藤田校長が職員と生徒を代表して、祭壇に手を合わせた後、待ちに待った試食会の開催です。

クラスメイトや友人同士で輪となり、おにぎりとお味噌汁に舌鼓を打ちました。

生徒の中には、味噌汁の調理で余った味噌をご飯につけて食べる食通も…



あっという間に完食した西高生は、午後の授業に元気いっぱい(!?) 臨んだようです。